

令和7年度 地域文化保存継承・支援事業審査会結果一覧

○地域の自主的な活動（地域資源の保存継承）事業（補助対象経費の2/3以内で上限30万円）

単位（円）

No.	申請団体名	事業名	補助対象経費	補助金申請額	審査会採択額	事業内容説明及び担当所見	採択の可否及び審査会意見 (令和7年8月7日審査会)
1	巨勢まちづくり協議会	「巨勢町見てあるき」改訂版作成事業	372,680	248,000	184,000	<p>【事業内容】 平成12年に作成された巨勢校区の歴史や名所旧跡、神社・寺院などを掲載した「巨勢町みてあるき」を、今回佐賀市発足・佐賀郡古瀬村発足135周年記念、巨勢小学校創立150周年を記念して改訂する。改訂版は、これまでの内容に佐賀市及び巨勢町の変遷や巨勢小学校の歴史なども加える。冊子を発行することにより、巨勢町の歴史・文化の継承並びに史跡等の情報発信・維持保存につなげていく。 当冊子は、今年11月に予定されている巨勢小学校150周年記念事業において配布を予定している。</p> <p>【担当所見】 巨勢小学校150周年記念事業において冊子を配布することにより、巨勢校区の歴史や文化が継承されることが期待される。</p>	<p>【採択の可否】 採択 【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>
2	下新ヶ江自治会	久保田町下新ヶ江自治会三丁井樋地区における「大神さん（お堂）」敷地内フェンス修繕、陥没復旧工事業	379,500	253,000	188,000	<p>【事業内容】 下新ヶ江の大神さんと呼ばれるお堂の周りには、周辺にあった石祠等が集められており、大神さんの石祠の他、大日如来、弁財天、馬頭観音などが祀られている。また、お堂の中には、三体のお地藏様が安置され、古くより祀られている。祇園祭や、お念仏行事などが毎年行われ、大人、子どもが集う場所であり、除草作業を毎月地域の人々で行って大切に守っている。この敷地内のフェンスが破損し、川に面した敷地の土地の陥没もみられるため、フェンスの修繕と陥没の復旧を行う。</p> <p>【担当所見】 大神さん（お堂）は様々な行事に利用されており、これまで地区の要として、地域コミュニティを支えてきたが、敷地内のフェンスが破損し、川に面した敷地も一部陥没しており、修理、復旧が必要である。</p>	<p>【採択の可否】 採択 【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>
3	立石自治会	立石部落若宮稲荷神社鳥居改修	261,800	174,000	129,000	<p>【事業内容】 公民館と同じ敷地にある若宮社と稲荷社では、毎年8月の風祭・祇園など地元住民に親しまれているお祭りや行事があり、自治会員が集まる親睦の場となっている。 各種行事を実施する中で、樹木の剪定や清掃活動をするなど、維持管理にも努めている。 神社においては稲荷社の鳥居が老朽化して危険を伴っている為、鳥居（1基）の建替え工事を予定している。今後安心して行事が行えるよう補修工事をして、コミュニティの場として後世に引き継いでいきたい。</p> <p>【担当所見】 この若宮稲荷神社は、長年地域住民の生活とともにあり、年間を通して行事に使用されており、剪定などの維持管理も行われている。老朽化により、鳥居に破損がみられ修理が必要である。</p>	<p>【採択の可否】 採択 【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>
4	南川副歴史倶楽部	南川副地区内に建立されている「石碑3件の案内板」新設	214,500	143,000	0	<p>【事業内容】 南川副地区にある園田二郎兵衛記念碑、辻演年記念碑、原藤三郎水功碑の案内板を新設する。昨年度は、南川副歴史倶楽部で石碑に書かれてある内容の解説を行い、チカラットの補助金で、その内容を冊子にして、佐賀市内の小学校全校に配布を行った。今回は、その第2弾として案内板を新設する。昨年、南川副地区の文化財の調査をしたが、案内板がないのが殆どで、南川副内外から訪れる市民にも南川副地区の文化財への理解が十分に得られておらず、今年度は、自己資金を準備できる範囲内の上記の3件の案内板を石碑に隣接して設置する。</p> <p>【担当所見】 案内板を活用した歴史探訪会の開催などを考えられており、南川副地区内の文化財への理解が深まることが期待される。</p>	<p>【採択の可否】 不採択 【審査会意見】 今回は申請件数も多く、総申請総額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果不採択となった。ただし、事業の必要性は十分に認めるものであり、可能であれば次年度に再度申請してほしい。</p>

5	貝野自治会	貝野地区観音堂 屋根葺き替え事業	450,000	300,000	223,000	<p>【事業内容】 富士町貝野集落にある観音堂は、旧暦8月1日に、お供え物や飾り物をしてお参りし、お神酒をいただくことを欠かすことなく行うなど、集落をあげてお祭りをを行い、地域の結束を維持している。さらに、お堂の維持管理も、現在はお年寄りたちが月1回の定例行事として掃除を行い、お堂は、地域の人が集まり話をする集いの場となっている。お堂の屋根を葺き替えることによって、老朽化とともに堆積する落ち葉等によって生じる雨漏りを防ぎ、地域の祭り等継承のため必要な観音堂を、将来にわたり活用していく。</p> <p>【担当所見】 貝野地区は50人程の小さな集落だが、観音堂は地域の人々の生活とともにあり、地域資源の保存のためにも屋根の葺き替え修理が必要である。</p>	<p>【採択の可否】 採択</p> <p>【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>
6	諸富花いちもんめの会	昭和100年・終戦80年 歴史文化継承事業	117,250	78,000	0	<p>【事業内容】 今年、昭和100年の節目、また太平洋戦争終戦から80年の節目の年になるが、昭和の記憶は薄れ、戦争の語り部も高齢になり、戦争体験に基づく平和の尊さや昭和の歴史の継承が困難となっている。諸富地区での戦争や昭和28年6月の大水害がどのようなものだったかなど、先人たちがつくりあげてきたふるさとの協働社会の歴史を継承していく必要がある。このため、写真をパネル化して展示するパネル展を諸富公民館で実施する。写真は会が所有する写真と諸富地区で募集した写真（合わせて15枚程度）を使用する。</p> <p>【担当所見】 年々、戦争や昭和の歴史を知っている年代が少なくなっていく中で、写真パネル展によって、諸富における戦争の悲惨さや昭和の歴史が諸富町の住民に継承されることが期待される。</p>	<p>【採択の可否】 不採択</p> <p>【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業や今回初めて申請された事業から採択することとなった。今年しか出来ない事業ではあるが、団体としては過去に何度か採択されており、今回初めて申請された団体を優先した結果、不採択となった。ただし、事業の必要性は十分に認めるものであり、可能であれば次年度に再度申請してほしい。</p>
7	蓮池町まちづくり協議会	「蓮池町ボランティアガイド」事業	338,400	225,000	167,000	<p>【事業内容】 江戸時代、蓮池藩として栄えた蓮池町の魅力を後世に伝え、町外からの来訪者にもその歴史や文化や伝統を知ってもらうためにボランティアガイド事業を推進することにより、蓮池町全体の活性化を図ることを目的とする。藩政時代から明治、大正、昭和にかけて蓮池公園や蓮池町内に建立された名所旧跡や神社・寺院等を案内するガイド教本や蓮池町全体のマップをこれまでに作成してきたが、今回は見学者に配布する2種類のパンフレット（蓮池公園案内・蓮池町街並み案内用）を作成する。</p> <p>【担当所見】 まちづくりの一環としてボランティアガイド事業が行われている。見学者に配布するガイドパンフレットを作成・活用することで、蓮池の魅力を町内外に周知することができ、地域資源の保存、継承につながることを期待される。</p>	<p>【採択の可否】 採択</p> <p>【審査会意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>

○伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業(補助対象経費の1/3以内で上限30万円)

1	川副子ども太鼓	川副子ども太鼓 太鼓修理事業	605,000 ※採択分 440,000	200,000 ※採択分 146,000	108,000	<p>【事業内容】 昭和62年に川副町で立ち上げられた子ども和太鼓の演奏団体で、演奏する曲は、川副町に昔からある浮立をイメージして作曲したものである。町内外のイベントや祭りでの演奏、施設慰問に向いて演奏を行っている。過去には、佐賀市川副支所開所や佐賀空港「空の日」イベントなどで、演奏を行っている。また子ども太鼓主催の演奏会を年に1度開催している。これまで約40年に及ぶ活動で、多くの地元の青年たちを育ててきた。長年使ってきた太鼓が傷んでおり、修理を予定している。</p> <p>【担当所見】 太鼓演奏を通じて地域の子供達を育成してきたが、今後も活動を続けるために、大縮太鼓の張替え等の修繕が必要である。</p>	<p>【採択の可否】 採択</p> <p>【審査会の意見】 今回は申請件数が多く、総申請額も予算を大幅に上回った為、緊急性の高い事業、今年しか出来ない事業、過去に不採択となった団体の事業から採択することとなり、その結果、大縮太鼓の修理が採択となった。なお、採択額については、採択事業の補助金総申請額が予算を上回ったため、一律に按分した額とする。</p>
---	---------	-------------------	----------------------------	----------------------------	---------	--	--

○合計		補助対象 経 費	補助金申請額 (採択分)	交付決定金額
申請内容		2,574,130	1,346,000	999,000
佐賀市予算			1,000,000	1,000,000
予算残額			△ 346,000	1,000

申請額の74.4%（千円未満切捨て） 1,000,000円（予算）÷1,346,000円（補助金総申請額）×100≒74.40%